



表紙写真：武雄市子ども図書館

上記写真：神六山からの雲海（西川登町）

寒さも本格化し、冬の訪れを感じる季節です。12月は一年を締めくくる月。新年に向けて、新たな目標を掲げたり、振り返りをする良い機会です。皆さんも2023年を振り返ってみてください。

# TAKEO

広報武雄 No.214 2023年12月号



## CONTENTS

▶特集 冬こそ 登山のすゝめ ...06

ニュース 武雄御船ライオンズクラブ様より寄附をいただきました  
第16回 武雄の物産まつり ...03

令和4年度 決算報告 ...11

秋田市との絆を後世につなぐ ...13

環境NEWS ...26

お知らせ 年末年始 ごみ収集・し尿汲み取りのお知らせ  
SNS等を利用した詐欺にご注意を ...17

おたんじょうおめでとう ...30

発行・編集／ 武雄市役所 企画部 秘書広報課 ☎0954-23-9121  
〒843-8639 佐賀県武雄市武雄町大字昭和12番地10  
印刷／ 有限会社 四季の丘印刷



市長だより

先月、ヤングケアラー支援講演会を開催しました。子ども家庭庁によると、ヤングケアラーとは「本来大人が担うと想定されている家事や家族の世帯など日常的に行っていること」のこと。ただ、これだけでは少いわいりにくいのではないかと感じます。子どものころに家事手伝いをされた方も多いと思います。家事手伝いしている子どもは全員ヤングケアラーなのか?という疑問が出てくるかもしれません。これに対しては、必ずしもそうではない」というのが答えになります。家の責任や負担が重く、勉強をたやみ返す交流する時間がまったくとれない場合に、その子は「ヤングケアラー」ということになります。もちろん、ヤングケアラーがすべて悪いというわけではなく、経験とその後の人生で活かすことができた話や元ヤングケアラーがいるのも事実。要は家事や世帯の負担が大きい生活のなかで、一人が頑張ったり、本人も気がないうちに苦んでいる子どもを救うのがヤングケアラー支援だと私は考えています。市の今後、誰もが気軽に相談できる環境や、その子一人ひとりに支えつづける仕組みを作るつもりです。地域や学校などで、「あれ?」と感じることがあれば、それはその子のサインかもしれません。どんな境遇であっても、誰もが自分らしく幸せに暮らせるまじを目指して、SOSのサインを見逃さず、みんなと力を合わせて取り組んでいきたいと思っています。武雄市長 小松 政